



開催概要

令和6年度裁判員等経験者意見交換会

「僕が？私が？裁判員！？」 ～裁判員等経験者の声を聞いてみませんか～

令和6年7月30日(火)京都地方裁判所にて、中学生から大学生まで約30人の学生にご参加いただき、裁判員等経験者意見交換会を実施しました。

模擬裁判



法曹三者と裁判員等経験者による模擬裁判員裁判を実施しました。
参加者には、実際の公判さながらの様子を見ていただきました。

パネルディスカッション



裁判員等に選ばれた時の経験者の思いや、分かりやすい裁判をするために弁護士や検察官が工夫していることなど、裁判員裁判に関する、裁判員等経験者や法曹三者のお話を聞いていただきました。

質疑応答

参加者の皆さまも積極的に手を挙げて、たくさん質問をしてくださいました。



次頁で参加者や経験者の声を一部紹介🐱



裁判員になることについて 職場の理解は得られるの？

- 職場の人には、「選ばれたらぜひ参加してください」と言ってもらえ、周囲の同僚の協力も得られました。
- 職場には、裁判員に選ばれると裁判に参加するための休暇を取得できる制度があり、利用しました。

裁判員を経験してから、法律 に対する考え方は変わった？

- 自分の考えが全てではないとの思いが生まれ、例えば、判決の報道を見ても、その判決についてどう考えるか、周囲の人と話すようになりました。

未来の裁判員へメッセージ

- 裁判員に選ばれたいと思っても、そうなれるものではありません。選任されたら、評議の場でも悔いのないように意見を言ってほしいと思います。
- 知識が必要なのではないかなど、不安になるかもしれませんが、裁判官がわかりやすく色々教えてくれます。良い経験になるので、機会があるなら参加してほしいと思っています。

参加者の感想

- 裁判員制度の存在は知っていたけれど、実際に経験された方の思いまで知ることができて理解がとても深まりました。
- 私も今後裁判員になる可能性があるので、不安に思う必要はないと聞いた時はホッとしました。参加できる機会があれば是非参加したいと思います。
- 裁判員裁判では、弁護士や検事の方が、裁判員に理解しやすいように工夫されているということが印象的で、裁判員経験者のエピソードからも、資料や用語解説の工夫がわかった。

他にも、裁判員に選ばれるまでの流れを職員が説明したり、DVDを視聴してもらったり、最後は法廷見学や法服の試着をしていただいたりしました！

京都地方裁判所総務課広報係

